

【平和記念式典への参加について】

二日目の8月6日、私たちは広島市原爆死没者慰霊式並びに平和祈念式に参加しました。

これは、1945年の8月6日に広島に落とされた原爆で亡くなられた方の霊を慰め、世界の恒久平和を祈念するために毎年行われているものです。今年は原爆投下から70年ということもあり、とても多くの方が参列し、世界の平和を祈りました。

私たちは栃木市の代表として参列し、亡くなられた方のご冥福をお祈りし、戦争のない世界を築き上げることを誓いました。

【平和記念式典へ参加して心に残ったこと】

僕は、安倍総理をはじめ、たくさんの方々の言葉が心に残りました。会場にいる人全てが平和を望んでいる、ということがよく分かったからです。「戦争なんて起こしたくない」「起こすべきではない」会場全体にいる人達が一つになってそう思えたなと思いました。

また、会場にはたくさんの外国の方が来ていました。平和に国境はなく、戦争を起こしたくないという思いは、世界中誰でも持っているものなのだということが分かりました。このことも、僕の心に深く残りました。

私が、平和記念式典に参加して、心に残ったことは、黙とうをして平和の鐘の音を聞いていた時です。私は、黙とうをしている時に、前日に行った、平和記念資料館で見た、展示物や写真のことを思い出していました。たった一発の原子爆弾で、たくさんの方々の大切な命や建物、自然が一瞬にして奪われていくことを想像していたら、とても胸が痛くなりました。また、平和の鐘の音が鳴り響くのにつれ、もう二度と同じようなことが起こらないでほしいということと、戦争がない平和な世界になってほしいと、強く、祈っていました。

【平和記念式典へ参加して学んだこと】

私が平和記念式典に参加して心に残ったことは「二度と戦争はしてはいけない」ということです。式典の中で被爆者代表の方が献花をされている姿を見て、辛い体験をされた方なんだなと思い心が痛みました。

戦後70年たった今でも、戦争を体験した人々の消えることのない心の傷は、私達がたくさんの方々に伝えるべきだなと実感しました。

今回の平和記念式典は、戦後70年という節目の年だということもあり、たくさんの方々が式典に参加されていました。献花では、ぼくたちは、30分以上もの時間並ばなくてははいけないうらい、多くの方が花をそえていました。そのことから、たくさんの方が平和を強く願っているんだということが分かりました。

そして、誰もがおそれる戦争を、この世界からなくすためにもぼくたちは広島で学

んだことを、一人でも多くの人に伝え、その事実を知ってもらわなくてはいけないんだ、ということ、強く感じました。

以上